

第3期グローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価に向けた 基準の改定について（概要）

○ 基準改定の経緯・理由

- ・ 2016年度に開始したグローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価では、グローバル・コミュニケーション系分野の高度専門職業人教育の質保証に取り組むべく、グローバル・コミュニケーション系専門職大学院に必要な事項を定め、評価を行ってきた。
- ・ この度の改定では、自己点検・評価及び認証評価をより効率的、かつ効果的に行えるようにすべく、基準全体や「評価の視点」の構成を改めて整理した。
- ・ これまでに定めた当該分野の高度専門職業人に必要な能力やこれを涵養するための教育課程に求められる要素は引き継ぐこととする。ただし、時代の変化にあわせた表現に更新するとともに、グローバル・コミュニケーション系専門職大学院の特徴をよりの確に評価できる基準へと見直した。
- ・ 基準の改定にあたっては、本協会の「基準委員会」のもとに「グローバル・コミュニケーション系専門職大学院基準検討小委員会」を設置し、審議・起案を行った。

○ 主な改定点、基準の概要

(1) 効率的かつ効果的な自己点検・評価及び認証評価の実施に向けた取組み

①大項目の整理・統合

- ▶ 機関別認証評価と重複する大項目を整理するとともに、専門職大学院の教育を中心とした基準体系を明確に示すため、大項目を変更した。

現行基準		基準（改定案）
大項目 1 使命・目的 2 教育内容・方法・成果 (1) 教育課程・教育内容 (2) 教育方法 (3) 成果 3 教員・教員組織 4 学生の受け入れ 5 学生支援 6 教育研究等環境 7 管理運営 8 点検・評価、情報公開	⇒	大項目 1 使命・目的 2 教育課程・学習成果、学生 3 教員・教員組織 4 専門職大学院の運営と 改善・向上

※基準（改定案）と現行基準の大項目の主な対応関係

現行基準		基準（改定案）
1 使命・目的	→	1 使命・目的
2 教育内容・方法・成果 (1) 教育課程・教育内容 (2) 教育方法 (3) 成果 4 学生の受け入れ 5 学生支援 6 教育研究等環境 (※図書館、自習室など学生に関する環境)	→	2 教育課程・学習成果、学生
3 教員・教員組織 6 教育研究等環境 (※研究室など教員に関する環境)	→	3 教員・教員組織
7 管理運営 (※ただしグローバル・コミュニケーション系専門職大学院の教育を審議・決定する組織のみを残し、他は機関別認証評価の範疇として廃止) 8 点検・評価、情報公開	→	4 専門職大学院の運営と改善・向上

②法令要件等の表形式化

- ▶ 基準構成を見直し、法令要件をはじめたとした「基礎要件」を設けた。「基礎要件」については、別途作成する様式「基礎要件データ」の各表にその充足状況のとりまとめを求めることで、申請大学院における自己点検・評価及び本協会における認証評価の効率化を促すこととした。

現行基準		基準（改定案）
構成 「本文」 「評価の視点」	⇒	構成 「本文」 「 基礎要件 」 「評価の視点」

- ▶ 現行基準では「評価の視点」をF群（Fundamental）・L群（Legal）・A群（Advanced）に区分していたものの、基礎要件（法令要件を含む）を新設したことから、「評価の視点」の区分を廃止する。
- ▶ 「基礎要件データ」には、法令要件ではないものの、評価の視点に係るデータ（表18・19）も含めていることから、現在の評価で提出を求めている「基礎データ」を廃止する。
- ▶ 上記のように、法令要件等を「基礎要件」として抽出し、大項目及び評価の視点を整理したことにより、評価の視点数が以下の通り変更となった。

旧基準（現行基準）	評価の 視点数	新基準（基準（改定案））	評価の 視点数	基礎要件 の表数
大項目		大項目		
1 使命・目的	7	1 使命・目的	2	1
2 教育内容・方法・成果	計 35	2 教育課程・学習成果、 学生	21	7
（1）教育課程・教育内容	14			
（2）教育方法	19			
（3）成果	2			
3 教員・教員組織	15	3 教員・教員組織	12	7
4 学生の受け入れ	8			
5 学生支援	8			
6 教育研究等環境	12			
7 管理運営	8	4 専門職大学院の運営 と改善・向上	8	2
8 点検・評価、情報公開	9			
計	102	計	43	17

※「基礎要件の表数」からは、「基礎要件」に対応しない（基準上に示されていない）表 18、19 を除いている。

以 上